

麦の穂

発行責任者 医療法人光臨会 理事長 荒木 攻

61

平成26年
10月10日発行

医療法人 光臨会
荒木脳神経外科病院
Araki Neurosurgical Hospital

第2回 Neurosurgery Update in Hiroshima 脳に関する市民公開講座の開催について

Neurosurgery Update in Hiroshimaは昨年私達が立ち上げた組織で事務局を荒木脳神経外科病院に置いております。本会は医学・薬学における脳神経外科領域の診療、研究及びその発展向上と、地域における方々の健康増進を図ることを目的としております。

このような趣旨で昨年第1回目は8月に、将来を担う主として広島県在住の若い脳神経外科医の方々に対し、その知識・技術の継承をすべく本当に手術のできる全国屈指の著名な脳神経外科の教授を東京大、京都大、九州大から講師としてお招きし、シェラトンホテル広島で講演会を行いました。

今年は第2回として、平成26年8月10日（日）に広島国際会議場 国際会議ホール「ヒマワリ」にて、地域の方々の健康増進を目的として、脳とスポーツをメインテーマとしてNeurosurgery Update in Hiroshima脳に関する市民公開講座 『正しく学ぼう！脳のしくみ』を開催しました。



会場の様子



荒木会長あいさつ



トークセッション

今回も全国から著名な先生を講師としてお招きし楽しくわかり易い内容のもと、講演①として日本臨床スポーツ医学会 名誉会員 大分岡病院 森 照明先生に「脳とスポーツ」、講演②として徳島大学医学部脳神経外科教授 永廣 信治先生に「脳とスポーツ外傷」、講演③として東京大学医学部脳神経外科教授 斎藤 延人先生に「脳の病気を知る」というテーマでご講演を頂きました。また、総括としてQ&Aトークセッションでは、広島大学医学部脳神経外科教授 栗栖 薫先生の司会のもと、講師の3名と一般市民が一緒にになり様々な質問に対し丁寧にお答えいただき、皆さんで健康増進を考えることができました。

この日は、台風11号の影響が懸念され、開催が危ぶまれましたが、当日々台風一過、ほぼ満席となる500名の方々にお集まりいただき大盛会となりました。私達にとって初めての市民公開講座ではありましたが、たくさんの皆さまのご協力をいただき無事開催できましたことを心より感謝申し上げますと共に、皆さまの今後の益々のご発展とご活躍をお祈り申し上げます。

Neurosurgery Update in Hiroshima
会長 荒木 攻

もくじ

- 1 第2回Neurosurgery Update in Hiroshima 脳に関する市民公開講座の開催について
- 2 診療部 学会発表内容
- 3 学会発表のご報告
- 4 広島脳卒中地域連携の会に参加
- 5 第9回 光臨会ビアガーデン
- 6 連携医療機関のご紹介 —— 医療法人 社団慈恵会 いまだ病院 ——

平成26年度学会発表実績 診療部 学会発表内容

山崎 弘幸(脳神経外科部長)

2013.11 新潟

「当院にてコイル塞栓術を行った47破裂動脈瘤の治療成績」

2009年4月以降47例にコイル塞栓術を施行した。局在は全交通動脈17、前大脳動脈遠位が6、内頸一後交通動脈が12、内頸一前脈絡動脈が2、中大脳動脈が6、脳底動脈終末が1、脳底動脈一上小脳動脈が3であった。直後の塞栓度は体部残存7、ネック残存14、完全閉塞27であった。フォローした26例中半数の13例でコンパクションを認め、4例(11.1%)では再治療が必要と判断し内1例でコイルの追加を行った。

藤井 辰義(外科部長)

2014.2 横浜 静脈経腸栄養学会

シンポジウム「誤えん性肺炎と胃瘻の功罪」

「食べるためのPEG」は脳卒中例で安全に実践されているか?

口腔ケアアセスメントガイド(OAG)を指標とした肺炎合併との関連において

脳卒中の患者さんに対する胃瘻と口腔ケアについてシンポジウムで発表しました。当院では脳卒中の後遺症で食事が摂れなくなった方に対し、毎年約30件の胃瘻手術を行っています。口腔ケアを入院中しっかり行い、リハビリを数か月続けることで半数近くの人が再度、口から食べる事が出来ました。

また口腔ケアの効果を点数化し、入院過程で改善していくことを証明し、重大な合併症である肺炎の減少につながりました。

太田雄一郎(脳神経外科医)

2014.3 大阪 日本脳卒中学会総会

「脳梗塞患者における認知症と多発性脳微小出血の関連」

脳梗塞に合併する多発性脳微小出血の患者において認知症との関係を明らかにする事を目的とした。2011年11月から2014年3月までの間に、脳梗塞で入院し、多発性脳微小出血を合併した症例を検討対象とした。脳卒中で入院したのは脳梗塞983例。この中で多発性脳微小出血を合併したのは101例(10%)であり、多発性脳微小出血の部位は皮質枝領域16例、穿通枝領域48例であった。さらに皮質枝領域で認知機能低下を来たしたのは8例(50%)であり、穿通枝領域で認知機能低下を来たした症例8例(17%)であった。認知機能低下に関してその頻度は皮質枝領域に多発性脳微小出血が発症した場合、穿通枝領域よりも優位に差を認めた。皮質枝領域に多発性脳微小出血を発症した場合、穿通枝領域に発症した場合よりも認知機能低下と関連する可能性が高く、穿通枝領域には認知ループが存在し、穿通枝領域に多発性脳微小出血を来たした場合も認知機能低下と関連する可能性が十分あることが考えられた。

学会発表の ご報告

当院が平成26年5月～7月に全国規模の学会で発表した演題をご報告いたします。
今後も医療の質向上を目指して、職員一同学術活動を通して、
スキルアップを図っていきたいと思います。



第49回 日本理学療法学術大会 日時：5月29日～6月1日 場所：パシフィコ横浜	幹細胞移植後の理学療法効果 —脳損傷に対する再生医療—	リハビリテーション部 理学療法士副主任技師 猪村 剛史
	拡散テンソルTractographyを使用した 脳卒中後の神経線維変化の検討	リハビリテーション部 理学療法士副主任技師 猪村 �剛史
	脳卒中後半側空間無視患者の回復過程における 拡散テンソルTractographyによる脳内の経時的变化	リハビリテーション部 理学療法士 長澤 由季
第4回訪問リハビリテーション協会 学術大会in熊本 日時：6月7日～8日 場所：市民会館崇城大学ホール	「妻と最後まで一緒に暮らしたい」という想いを尊重した 在宅生活支援 —訪問リハビリテーションの立場から—	リハビリテーション部 理学療法士副主任技師 中村 翔
第11回 日本口腔ケア学会総会・学術大会 日時：6月28日～29日 場所：旭川市民文化会館	非経口摂取患者における 下咽頭部の加湿の重要性を再考させられた一症例	看護部 佐藤 理恵
第64回日本病院学会 日時：7月3日～4日 場所：サンポートホール高松	新人教育体制の構築の過程	看護部 4階病棟看護師長 石田 敬子
第17回 日本臨床脳神経外科学会 日時：7月19日～20日 場所：東京国際フォーラム	脳梗塞患者における認知症と多発性脳微小出血の関連	診療部 医師 太田雄一郎
	脳卒中後の半側空間無視が 日常生活動作能力の獲得に及ぼす影響について	リハビリテーション部 理学療法士 長澤 由季
	多職種と連携した住環境整備を行い、 独居での自宅退院へ至った症例	リハビリテーション部 作業療法士 落合 香織
	栄養補助食品の導入により経管栄養から 経口摂取に移行した一症例	リハビリテーション部 言語聴覚士 武政麻衣子
	当院における救急患者の現状と事務職員の役割	事務部 瀬島 俊子
	医療材料費削減の取組み—適正在庫の構築—	事務部 位田 倫人
	効率性係数改善の取り組み	情報管理室 嶋田 貴志
	医師事務作業補助者の新人教育について当院における工夫	医療秘書課 増成 倫子
	医療安全に関する意識向上に向けた取組みの報告	看護部 中村 友香
	インシデント報告書から考える原因分析	看護部 村田 美紀
 当院の演者	回復期リハビリテーション病棟看護師の退院前訪問の試み	看護部 4階病棟看護主任 山田 美和
	回復期リハビリテーション病棟患者の 臨床的特徴と肺炎の関連性	看護部 4階病棟看護師長 石田 敬子

脳卒中連携計画管理病院として

7月30日広島市民病院にて第7回広島脳卒中地域連携の会が開催されました。この会は、脳卒中地域連携パスを共有する、主に広島市域の急性期5施設、回復期18施設、生活期（維持期）18施設、計41医療機関が参加する、年間3回実施する合同カンファレンスの場です。

当院は、これまで、回復期の病院としてこの会に参加し、県立広島病院、広島市民病院、広島赤十字・原爆病院といった急性期の脳卒中治療を担う計画管理病院から紹介される患者さんの、回復におけるリハビリテーション治療を提供してきました。しかしながら、当院もまた、急性期の脳卒中治療を担う病院です。そして、多くの患者さんを地域の回復期病院へと紹介してきました。この実績を踏まえ、この度、計画管理病院としての施設基準もクリアしたため、今年4月より回復期に加え、計画管理病院として当会に参加することになって初めて会議参加となります。

今回の会議は、事務局からパス使用状況の報告、広島市民病院 西野先生より広島県内の医療機関が順次参加しているHMネットを利用した今後の連携パスに関する説明、最後に落久保外科循環器内科クリニックの落久保先生より「広島市における地域包括ケアシステム」の特別講演と盛りだくさんの内容でした。

今年度の診療報酬改定では、病床の機能分化がより鮮明に示されました。それに伴い、脳卒中の患者さんについても、連携パスを活用した効率的な病床運営が求められてきます。当院としては、当連携の会の中では他に例がない脳卒中の急性期計画管理病床と回復期病床を兼ね備えた病院として、それぞれのステージで求められる役割をひしひしと感じつつ、今後も、広島圏域での脳卒中治療に邁進したいと思います。

地域連携室 佐々木 洋

第9回 光臨会ビアガーデン

平成26年7月25日（金）広島ダイヤモンドホテルにて、恒例の光臨会ビアガーデンが開催されました。夏の暑さが際立つ中、荒木理事長をはじめ85名ものたくさんの方々にご参加頂き、盛大なビアガーデンとなりました。数日前から雨も心配されましたが、当日はスッキリ晴れ解放感ある屋上での1杯はまさにビール天国日和となりました。

毎年夏に行われるこのビアガーデンは回を重ねること今年で9回目となります。冷えたビールで蒸し暑さを吹き飛ばす涼を求め、毎年大人気の企画です。

会場には各種ドリンクと様々なフードが並び、われさきにと言わんばかりに大行列ができています。から揚げや焼きそばは人気のようで、すぐに売り切れ。次の食材を探しにウロウロ。和洋あわせて料理は充実していました。またテーブルのあちらこちらで乾杯が起り、普段ではなかなか見られない笑い声や笑顔が印象的でした。そして最後は管理本部長の一本締めで終わりました。

福利厚生委員会では、職員間の親睦を深める事により、病院機能向上を図る事を方針に掲げ、年間で様々な企画・行事を行っています。今回のビアガーデン企画もそのひとつで、多職種のスタッフ同士交流を行えたことは、日々の業務を円滑に行うことに繋げることができたのではないかでしょうか。

看護部 三浦 萌 看護部 西村 晶子





連携医療機関のご紹介

医療法人 社団慈恵会 いまだ病院

住 所：〒733-0003 広島市西区三篠町1丁目5-1

T E L：082-238-6111

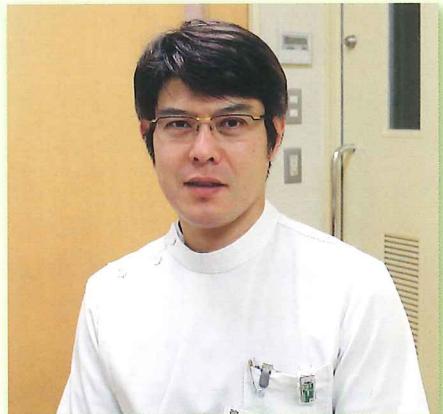
F A X：082-238-6123

診療科：整形外科、外科、消化器科、
リハビリテーション科、肛門科、眼科

院 長：大杉 健

診療時間	月	火	水	木	金	土	日
8:30～18:00	●	●	●	●	●	●	—

*休診日／日曜・祝日



院長 大杉 健先生



医療法人 社団慈恵会 いまだ病院の沿革

当院は昭和51年に現理事長 今田哲二にて いまだ外科・胃腸科診療所（19床）として西区三篠町に開院しました。昭和56年に増改築し、いまだ病院（43床）と改名しました。

平成15年、整形外科疾患、整形外科手術、リハビリテーションに対応すべく現在地に新築移転。平成17年、50床に増床。帰院10年目の平成24年より私が院長を務めています。

当院の診療

開院以来38年間にわたって、地元の皆様の健やかな生活に貢献すべく、地域に密着した医療を心がけてまいりました。

患者さんに対して『「正確」であること。「迅速」であること。そして「親切」であること。』を私たちの診療理念としております。

外来に来られた際は、病院滞在時間を最小限にするためスタッフ一同努力しております。その一環として診療時間に休みを設けず医師・スタッフが交互に休むようにし、患者さんの集中化が起こらないように努めています。

さらに当院は外来・入院の運動器リハビリテーションに重点を置いています。10名の理学療法士と5名のリハビリ助手で明るく、満足度の高いリハビリを目指しています。またリハビリ室のデザインにもこだわり、心地よい空間を提供しております。

そのためもあり、総合病院では長期入院が難しい保存的治療の患者さんたちや総合病院の手術後直ぐに自宅に帰ることが不安な患者さんたちが多く紹介されてきます。

また、当院でも骨折手術、人工関節手術、関節鏡手術などを行っており、術後の充実した入院リハビリを受けていただいております。

最後になりますが荒木脳神経外科病院と共に「西区在宅あんしん病院」の一員としてより一層地域医療に邁進していきたいと思います。



リハビリスタッフ



リハビリ室



いまだ病院外観

医療法人光臨会 理念

- 皆様に安心していただける、全人的な医療と介護を目指します

荒木脳神経外科病院 理念

- 脳神経外科としての専門性を軸に、幅広い診療体制で地域医療に貢献します
- 急性期医療の中核病院として、高機能で質の高いチーム医療を行います

運営方針

- 「医療の原点は救急である」
- 快適な療養環境と接遇の提供
- チーム医療の推進と相互啓発
- 「医療と福祉の複合化」の推進

患者様の権利

医療法人光臨会 荒木脳神経外科病院は、職員全員が次のような患者様の権利を尊重し、納得と同意に基づいた医療を行います

- 個人の尊厳が守られる権利を尊重します
- 最善かつ安全な医療を受ける権利を尊重します
- 医療に関して知る権利を尊重します
- 個人のプライバシーが守られる権利を尊重します
- 自分自身の治療等について自分で決定する権利を尊重します
- 自分自身の治療について他の医師の意見聞く権利を尊重します
- 苦情を申し立てる権利を尊重します

患者様の義務

- 患者様には適かつ安全な医療を受ける為、診療上必要な自らの情報を正確に伝える義務があります
- 患者様にはお互いに快適な療養生活を受ける為に、定められた規則を守る義務があります。



外来担当医表

平成26年9月1日～

		月	火	水	木	金	土
脳神経外科	午前	初診(1診) 診療部長山崎	主任部長渋川	院長 沖	医長 谷	副院長江本	広大
		再診(2診) 副院長江本	院長 沖	主任部長渋川	診療部長山崎	診療副部長加納	医長 谷
	午後	初・再診(1診) 診療副部長加納	診療部長山崎	広大	太田	太田	広大
		再診(2診) 主任部長渋川	医長 谷	副院長江本	診療副部長加納	医長 谷	太田
脳神経内科	午前	4 診			青木		
総合診療 (内科・外科)	午前	3 診	診療部長野村	診療部長藤井	診療部長野村	診療部長藤井	診療部長野村
	午後	3 診	診療部長渡辺	診療部長渡辺	診療部長野村	診療部長渡辺	診療部長野村
	午前	検査	診療部長渡辺		診療部長野村	診療部長渡辺	
	午後	検査		診療部長野村			
外 科	午前	4 診	診療部長藤井			診療部長藤井	
脳神経外科 形成外科 消化器内科	午前	5 診			※平本	理事長荒木 (再診)	消化器内科 井上

診察時間

◆完全予約制

午前 9時～12時
(初診受付：午前 11時30分迄)
午後 3時～6時
(初診受付：午後 5時30分迄)

救急は24時間受け付けております

※形成外科

平本先生(北野病院 形成外科)

第2水曜日 毎月1回

※井上名誉教授

第2・4土曜日 毎月2回

医療法人光臨会

荒木脳神経外科病院



〒733-0821 広島市西区庚午北2丁目8-7
TEL 082-272-1114 FAX 082-272-7048
E-mail info@arakihp.jp
ホームページアドレス http://www.arakihp.jp

荒木訪問リハビリテーション

〒733-0821 広島市西区庚午北2丁目8-7
TEL 082-527-1123 FAX 082-527-1127

荒木クリニック 通所リハビリテーション

〒733-0822 広島市西区庚午中2丁目11-15
TEL 082-507-6100

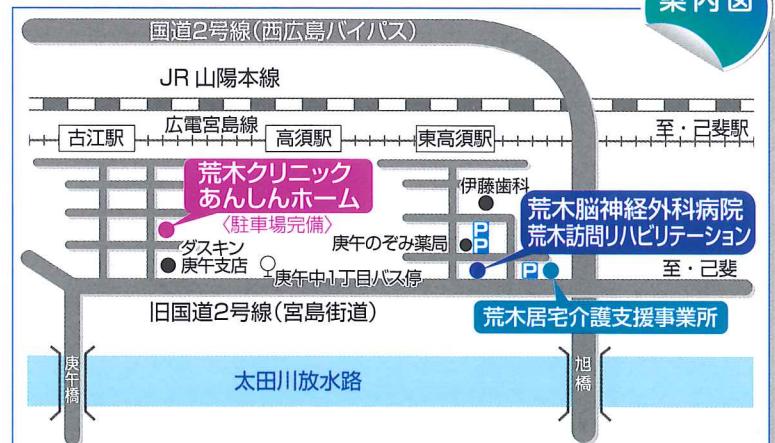
あんしんホーム(認知症対応型共同生活介護施設)

〒733-0822 広島市西区庚午中2丁目11-15
TEL 082-507-6600

荒木居宅介護支援事業所

〒733-0821 広島市西区庚午北2丁目1-4-201
TEL 082-507-6300

案内図



○自動車

西広島バイパス「庚午出口」より

宮島方向へ100m(宮島街道沿い)

○広島電鉄・宮島線／「東高須」下車 徒歩3分

○広島バス25号線／「庚午北2丁目」バス停前



○自動車

西広島バイパス「庚午出口」より

宮島方向へ100m(宮島街道沿い)

○広島電鉄・宮島線／「東高須」下車 徒歩3分

○広島バス25号線／「庚午北2丁目」バス停前



お知らせ・ 外来担当医表が変更になりました。脳神経外科につきましては午後も2名体制になりました。
切れ目のない診療体制でこれからもよりよい医療を提供していきます。